

三年学年だよ

No. 5

8月号

令和3年8月1日発行

304HR担任・副担任

“受験の天王山”とも言われる夏がやってきました。3年生にとっては高校生活の中で最後の夏休みです。この夏をどう過ごすかとすでに計画を立てている人もいれば、ここに来てはまだ。。という人もいます。しっかりと学習計画を立て、攻略ビジョンを明確にしなければ、気付けばただただと過ごしてしまった！！なんて後悔することになりかねません。何から手をつけていいかわからないという人は、これまでの自分自身の取組を見つめ直してみましょう。「勉強できなかった原因は何か」「高得点に至らなかった経緯で不備はなかったか」など一つ一つを明確にし、実践するのに足りなかったところや苦手を克服できていない課題点を明記してみましょう。ベネッセのサイトに次のようなアドバイスが書いてありました。

- ① 夏休み中の目標とする「総学習時間」を算出する。
- ② テストで得点できなかった科目・分野を洗い出し、優先的に学習時間を割り当てる。
- ③ 志望校の入試科目を調べ、「配点の高い・苦手な科目」から優先的に割り当てる。

また、これから志望理由書などを完成させる準備も必要です。まず「自分の強み」を把握しましょう。

- ① 過去の自分の行動や思考を振り返る。
- ② 関係する人物（友人、先輩、後輩、保護者、HRや各教科の先生、部活動の顧問など）に当時の自分についてどう感じたか、客観的な意見を聞いてみる。
- ③ 過去の記録（もうひとつのセントラルマラソン）や第三者の意見から見えてきた自分を、自分の言葉でまとめ、その中で「自分の強み」に結びつくキーワードを見つける。

“大学受験”という大きな壁が立ちはだかっていると思うと躊躇したくなる気持ちは誰しもあります。私自身も高3生だった時は苦しかった記憶があります。やらなきゃ！という気持ちは毎日持ちながら、それでも思うように進まなかった日もあり落ち込んだりもしました。たとえ今、この瞬間だけ現実から逃げたとしても志望校の受験日はやっぱりやってきます。だとしても、1日でも早く取り組むべきですね。悩んでいる時間だけ無駄に過ぎて行っている・・・なんてもったいない！そんな皆さんに巷のSNSで話題（だった？）の自らを奮い立たせる名言を紹介します。

「こん中に受験勉強するの日和ってるやついる？」

「いねえ～よなぁ！?!?!?!?!?!?!?!?!?!?!」



東京リベンジャーズ

11話より

(304HR 担任)

「耳をすませば」

スマホにしてから、深夜ラジオに親しんでいた高校生以来、再びラジオを聞き始めている。

詩人の長田弘は「今は小さな音が耳障りな音にすぎなくなって、日常にあって、ひそやかな音に耳を澄ますと言うことが、心を楽しますものと思われなくなった。大きな音ばかりが世にはばかりようになって、日々の表情を伝える音が少なくなった。」と言う。

脳科学者である茂木健一郎は、「外の音に耳を澄ませて生きることは創造的に生きる上での大いなる糧であり、人生はどれだけ耳を澄ませられるかの勝負にかかっている、生きながらにして生まれ変わることができる感覚は、音楽によって体感することができる」と述べている。

受験勉強の合間に、DJの話やお薦めの音楽を聞いたり、時には、耳を澄まして周りのささやかな音を聴こうとすることで、あの頃の自分は、精神的に豊かな日々を送ることができていた、と思う。

さて、あなたが今日聴いた音は次のどれですか。風の音・街の雑踏・隣の人をつぶやき・・・。

(304HR 副担任)